

取扱説明書

保証書付き

保証書は裏表紙に付いています。

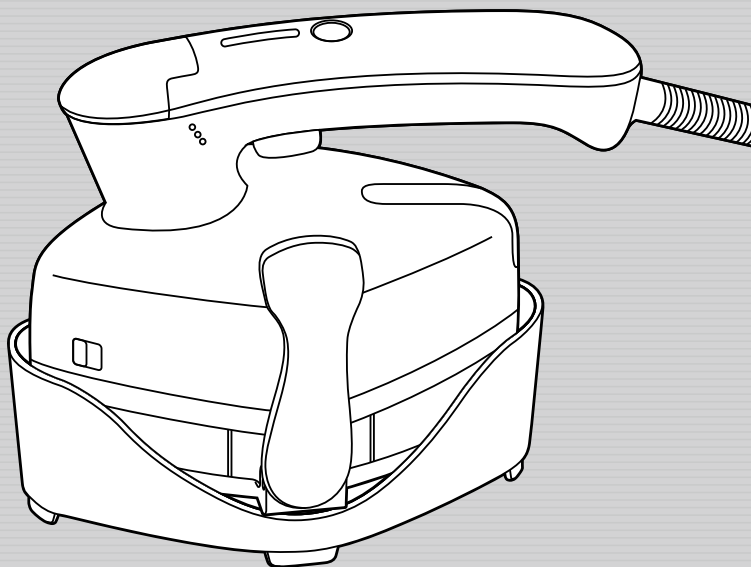
家庭用

日立衣類スチーマー

型式

シーエスアイ アールエックス

CSI-RX71



このたびは衣類スチーマーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この製品は一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.3～)をお読みいただき、正しくご使用ください。

日立家電メンバーズクラブのMy家電への製品登録をおすすめします

さまざまなサービスをご利用いただけます。

- ▶ 家電品の登録・管理
- ▶ お役立ち情報
- ▶ 安全点検サービス料金割引
- ▶ パーツショップ送料特典
- ▶ お知らせ



登録はこちら

詳しくはP.17をご覧ください。

HITACHI

Inspire the Next

もくじ

ご使用前に

各部のなまえとはたらき	2
安全上のご注意	3
はじめに	5

使いかた

基本的な使いかた	6
スチーマーとしての使いかた	8
プレスアタッチメントの使いかた	10
ドライアイロンとしての使いかた	12
スチームアイロンとしての使いかた	13
上手な使いかた	14

お手入れ

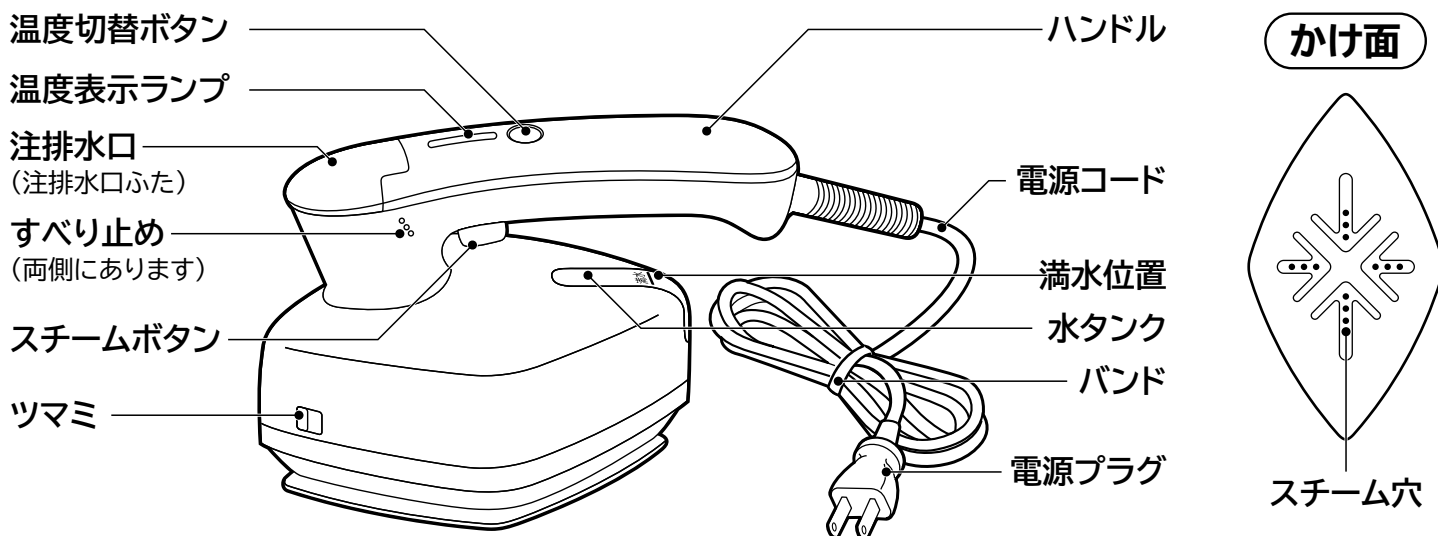
お手入れのしかた	16
----------	----

お困りのとき・アフターサービス

お困りのとき	16
仕様・性能	17
日立家電メンバーズクラブのご案内	17
ご相談窓口	18
保証とアフターサービス	19

各部のなまえとはたらき

本体

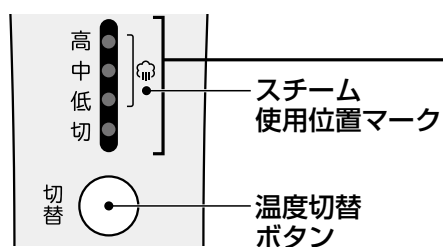


付属品



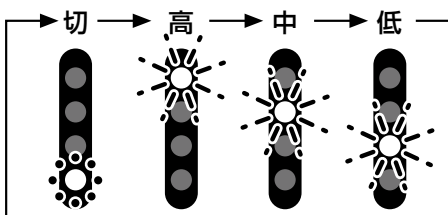
ランプ表示について

電源の「切」「入」や、設定した温度を確認することができます。



温度表示ランプ

- 電源プラグをコンセントに差し込むと「切」ランプが点灯します。(赤色)
- 温度切替ボタンを押すごとに高・中・低に切り替わります。設定したい温度に合わせるとランプが点滅します。(緑色)



[アイロンとして:高・中・低]
[スチーマーとして:高・中・低]

絵表示の見かたと温度の関係

●革製品類には使用できません。●その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。●混紡の場合は、低い方の繊維の温度に合わせてください。●衣類の絵表示が「☹」「低」「当て布」の表示があるものはかけ面を衣類からはなすか、プレスアタッチメントを取りつけてご使用ください。●絵表示がない布地には、低温でのアイロンかけや、かけ面をはなしてスチームをあててください。

繊維製品の絵表示				
衣類・布地の種類	アクリル アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛 ナイロン レーヨン ポリエステル	綿 麻	アイロンかけはできません
アイロンかけ				
設定温度	低	中	高	—
使えるまでの時間	約20秒	約25秒	約30秒	—
スチーム				
設定温度	低	中	高	—
かけ面を衣類からはなす	○	○	○	×
かけ面を衣類にあてる	○	○	○	×
使えるまでの時間	約20秒	約25秒	約30秒	—

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかなますのでご了承ください。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



必ず実行していただく「指示」内容のものです。

警告



分解禁止

- 改造はしない
- お客さまご自身で分解・修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。(破損や故障した場合は、修理を販売店へご依頼ください。)



ぬれた手禁止

- ぬれた手で使用しない
- 電源プラグをぬれた手で抜き差ししたり、使用しない
感電や火災の原因になります。



接触禁止

- スチームを手やひざにあてない、着用した衣類に使用しない
- 高温部(かけ面・スタンド・プレスアタッチメント)に手を触れない
やけどの原因になります。



禁止

- 本体の近くで油煙やスプレー等の可燃ガスが発生するもの(ベンジン等)を使用しない
火災や故障の原因になります。
- 落下させるなどして本体に損傷や水もれのある場合は使用しない
感電・けがをする原因になります。
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
感電や火災の原因になります。
- 本体にコードを巻き付けたり、ねじれたままで収納しない
ショート・発火することがあります。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでいるときは、本体を放置しない、本体から離れない
火災の原因になります。
- アイロン台使用時は、アイロン台の下に足を入れない
スチームを使用すると、スチームがアイロン台を通過しやけどをするおそれがあります。
- 温度表示ランプ点滅中は使用しない
湯滴が吹き出て、やけどの原因になります。
- スタンドを不安定な場所に置かない、熱に弱いものの上に置かない
やけどやけがの原因・敷物の損傷の原因になります。
- こどもだけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わない
やけど・感電・けがをするおそれがあります。
- 蛇口から直接給水しない、水につけたりかけない
感電・けがをする原因になります。
- 電源コードを束ねたままで使用しない
火災や感電の原因になります。
- 湿った衣類にスチームをあてない
湯滴が出てやけどの原因になります。
- 本体を激しく動かさない
湯滴が吹き出て、やけどの原因になります。
- 本体をスタンドに置いた状態でスチームを出さない
やけどの原因になります。
- ミトンを使用するときは、スチームを出さない
やけどの原因になります。

安全上のご注意 つづき

警告



禁止

●電源プラグ・コードを破損するようなことはしない
傷つけたり・加工したり・無理に曲げたり・引っ張ったり・ねじったり・束ねたり・重い物を載せたり・高温部に近づけたりしない。傷んだまま使用するとショート・感電・火災の原因になります。

●衣類を挟むときは、スチームを出さない
プレスアタッチメントで衣類を挟んだ後にスチームボタンを押し、スチームを出してください。やけどの原因になります。



指示

●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
絶縁劣化による感電やショートして発火の原因になります。

●延長コードは使用せず、定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると発熱による火災の原因になります。

●使用中、電源プラグ、電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する
ショートや発火の原因になります。

●給水時と排水時は、電源プラグを抜く
感電の原因になります。

●プレスアタッチメントは正しく取り付け、正しく使用しないと外れる可能性がある
やけどの原因になります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。(傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。)

●プレスアタッチメントの取り付け・取り外しのときは、必ず「切」設定にして高温部に触れない、使用中や使用後も高温部に触れない
やけどの原因になります。

●電源プラグのほこり等は定期的に取り除く
電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良になり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
火災・やけど・感電の原因になります。

注意



禁止

●本体内部にピンや針金などを入れない
ゴミを付着させない
感電・ショート・発火の原因になります。

●熱や湿気に弱い壁や家具などの近くで使用しない
壁や家具を傷める原因になります。

●本体を誤った向きでスタンドにおかない
変形・ショート・発火の原因になります。

●上水道水以外のリネンウォーター・香料を含んだ水などを入れない
故障の原因になります。

●ボタン・ファスナー等の固いものにアイロンがけをしない
傷付きのもとになります。

●市販のかけ面カバー・アタッチメントは使わない
誤動作のもとになります。



指示

●水を注水するときは、本体を置き台に置いて注水カップを使用する
水がこぼれる原因になります。

●本体はスタンドにおいて保管する
かけ面の傷つき防止やプレスアタッチメントの痛みの原因になります。

●織物製品以外に使用しない
衣類を傷める原因になります。

●注水カップを本機以外の用途で使わない

●高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをするか、あて布をする
衣類を傷める原因になります。【特にご注意】バルベツト、アクリル、ナイロン、カシミア、混紡、絹など

●デリケートな素材の衣類にプレスアタッチメントをあてると、生地を痛めてしまう可能性がある
目立たない場所で試してご使用ください。

●一般家庭用以外(業務用等の長時間使用など)で使わない
故障の原因になります。

●プレスアタッチメントに衣類を挟んだまま放置しない
衣類を痛める原因になります。

※一般家庭において、1日あたり使用時間30分程度(週3回)を想定しています。

※製品を落として亀裂や破損をした場合は、ご使用をやめてお買い求めの販売店に点検・修理依頼をしてください。

はじめに

知っておいていただきたいこと

- 生産組立の時に検査を実施していますので、水タンク内に水滴が付着している場合がありますが、異常ではありません。
- 布地を傷めないためには低温表示の布地および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしかけ」をして、必要に応じて「当て布」をしてください。
- 接着芯地などのりが付いているものにアイロンをかけるには、必ず「当て布」をして、アイロンかけをしてください。
- 本体を横向きにして使用するとスチームが出にくくなる場合があります。その場合は、本体を縦向きにしてご使用ください。
- 突然スチームが強く出ることがありますが、異常ではありません。
- 初めて使用したときは多少のにおいが出る場合がありますが異常ではありません。ご使用にともないなくなります。
- 室温や部屋の明るさによりスチームが見えにくい場合があります。
- 低温スチームは、スチーム量が少ないため見えにくい場合があります。
- スチームボタンを押したあとでも、しばらくスチームが出ないことがあります。
- 本体を振るとカラカラと音が鳴る場合があります。本体内部で吸水方向を調整する機構によるもので、異常ではありません。

オートオフについて

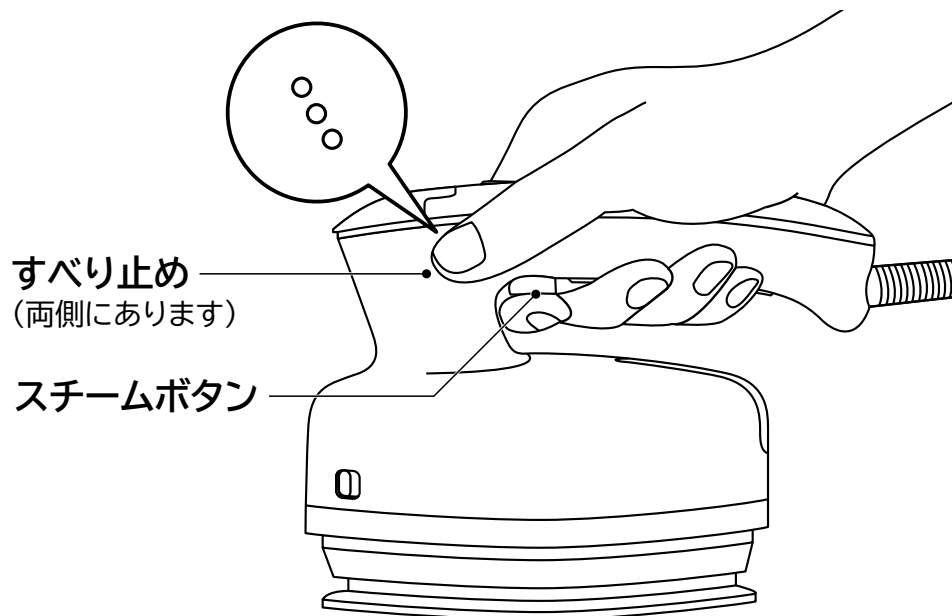
スチームボタンを押さずに約10分たつと、自動的に「切」になります。

オートオフにより「切」表示になった後、続けてご使用になるときは、温度設定をし直してください。オートオフは「高」・「中」・「低」いずれかの温度設定にある時に動作します。

基本的な使いかた

ハンドルのにぎりかた

親指をハンドル横のすべり止め位置にそえて、その他の指でにぎります
スチームボタンの位置に、ひとさし指を合わせてください。

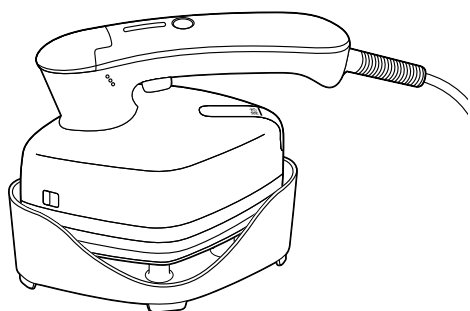


※右手・左手どちらでもご使用できます。

スタンドへの置きかた

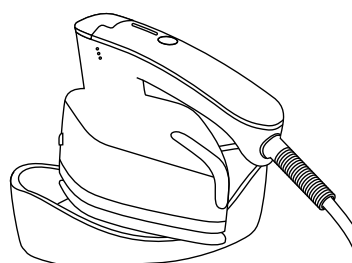
使用しないときは本体をスタンドに置いてください。
プレスアタッチメントの装着にかかわらず置くことが可能です。

○ 正しい置きかた

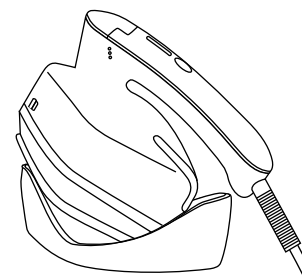


プレスアタッチメント使用時/
プレスアタッチメント未使用時

× 誤った置きかた



ななめに置く



片側だけ中に入っている

ご注意 ●不安定な場所や熱に弱いものの上に置かないでください。

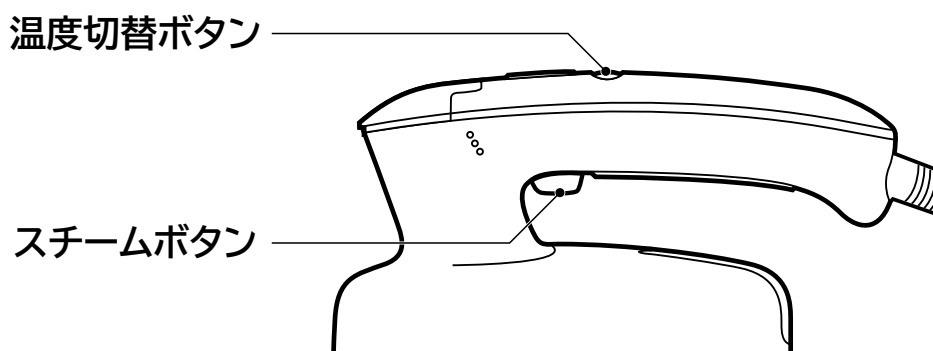
スチームの出しかた

**温度表示ランプが点滅から点灯に切り替わってから、
1度スチームボタンを押すと約1分間スチームが出続けます**

1分経過すると、自動でスチームが止まります。

再びスチームを出したい時は、もう1度スチームボタンを押してください。

運転の途中でスチームを止めたい時は、スチームボタン、もしくは温度切替ボタンを押すと止まります。



- スチームボタンを押した後でもしばらくスチームが出ないことがあります。
- はじめにスチームボタンを押した時、スチームが勢いよく出ることがありますが、異常ではありません。
- スチームを止めた後も、スチームが出る場合がありますので手や顔を近づけないでください。
- スチームボタンを押していなくても少量のスチームが出る場合があります。
(本体に残っている水が蒸発するため)
- スチームが出ている時は、ポンプが動作するため音がします。
- 本体を激しく動かすと、湯滴が出る場合がありますのでご注意ください。
- 連続してスチームを出すと、本体表面に水滴が付着することがあります。
これはスチームが結露したものです。異常ではありません。

警告



禁止

- スチームを手やひざにあてない。着用した衣類に使用しない
- 高温部(かけ面・スタンド・プレスアタッチメント)に手を触れない
- アイロン台使用時は、アイロン台の下に足を入れない

スチーマーとしての使いかた

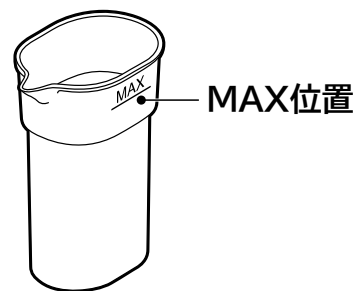
1

準備します

注水カップのMAX位置まで常温の上水道水を入れます。

ご注意

- 上水道水以外のイオン水・井戸水は使用しないでください。また、リンナーウォーター・香料・アイロン仕上剤などを混ぜた水は使用しないでください。



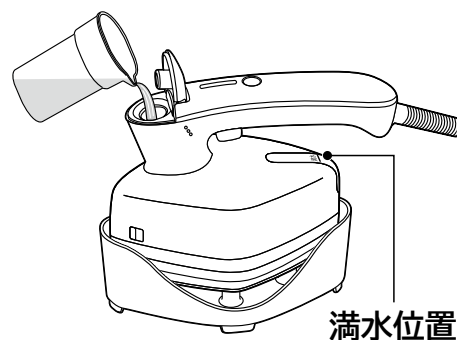
2

注水します

本体に水を入れ、注排水口ふたをしっかりと閉めます。

ご注意

- 本体の「満水」位置以上は入れないでください。水がこぼれた時はふきとってください。
- 水を入れるときは本体をスタンドにのせてください。
- ふたの先端を押してしっかりとふたを閉めてください。



3

通電します

本体をスタンドに置き、電源プラグをコンセントへ差し込みます。

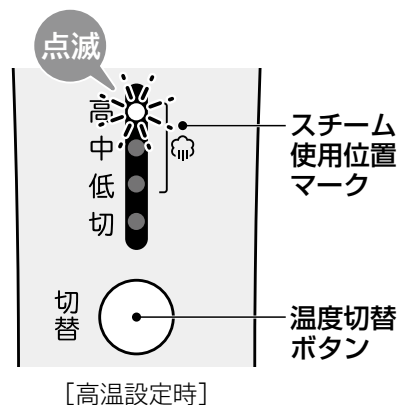
4

温度を設定します

温度切替ボタンを押し、「高」☺または「中」☺または「低」☺設定にしてください。温度表示ランプが点滅します。

ご注意

- 温度表示ランプが点滅中は使用しないでください。



5

スチームを使います

温度表示ランプが点滅から点灯になったことを確認して、スチームボタンを押して使います。

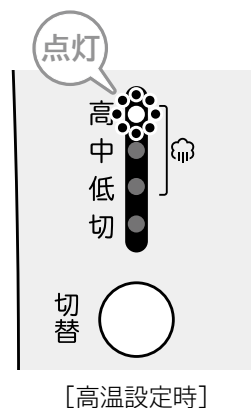
1度スチームボタンを押すと約1分間スチームが出続けます。→(P.7)

途中でスチームを止めたいときは再度スチームボタンを押すか、温度切替ボタンを押してください。スチームが止まります。

衣類に応じてかけ面を衣類にあてたり、はなしたりしながらスチームをあててください。

絵表示の見かたと温度の関係→(P.2)

水タンクの水が少なくなり、スチームが出にくくなったら、電源を切り、電源プラグを抜いてから水を入れてください。



- 必ずスチームを止めてからスタンドに置いてください。
- スチームが出ている時は、ポンプが動作するため音がします。

警告



禁止

- スチームを手やひざにあてない。着用した衣類に使用しない
- 高温部（かけ面・スタンド・プレスアタッチメント）に手を触れない
- アイロン台使用時は、アイロン台の下に足を入れない

オートオフについて

スチームボタンを押さずに約10分たつと、自動的に「切」になります。

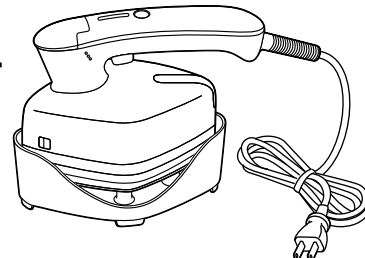
オートオフにより「切」表示になった後、続けてご使用になるときは再度、温度設定をしてください。

オートオフは「高」・「中」・「低」いずれかの温度設定にある時に動作します。

6

**使用後、温度切替ボタンを押して「切」にし、電源を切ります
電源プラグをコンセントから抜いてください**

**本体が冷めてから注排水口ふたを開け、水を捨てます
電源コードを付属のバンドでまとめ、
安定した場所で保管してください**



水を捨てても水タンク内に水滴が残りますが問題ありません。

しばらく使わないときは、タンク内を1度水道水でゆすぎ、水を全て捨てた後、注排水口ふたを開けて蒸発させてください。

プレスアタッチメントの使いかた

プレスアタッチメントについて

〈最後の仕上げにおすすめ〉

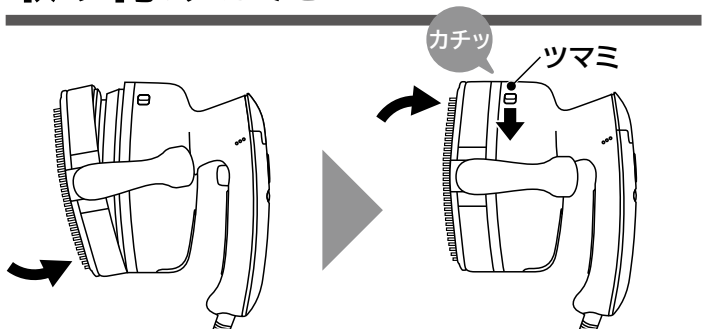
プレス
機能

衣類の先端を伸ばしたり、ズボンのセンターラインをつけたいときに使用します。

ブラシ
機能

衣類についた糸くず、綿ぼこり、髪の毛を取り払いたいときに使用します。
アタッチメントをつけると、かけ面が衣類に直接触れないので、テカリが気になる衣類や「当て布」表示のある衣類に使用します。

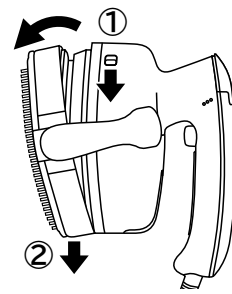
取り付けかた



本体後方の溝に
プレスアタッチメント
をひっかけます

本体のツマミを下げながら
プレスアタッチメントを
はめます

取り外しかた



必ず本体・プレスアタッチメント
が十分に冷めてからおこなって
ください。

- ①本体のツマミを下げながら
本体前方からプレスアタッチメントをはずします
- ②プレスアタッチメントを下げて本体からはずします

警告



指示

- 使用状況によってはプレスアタッチメントが外れる場合がありますが、故障ではありません。
- プレスアタッチメントの取り付け・取り外しのときは、必ず「切」設定にして、高温部に触れないでください。使用中や使用後も高温部に触れないでください。

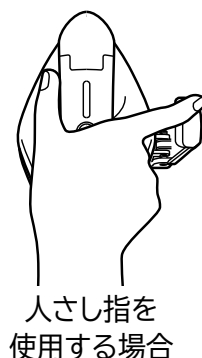
プレスアタッチメントの操作方法

操作方法は、必ず通電する前に実施してください

プレスアタッチメントのレバーは、右側にも左側にも取り付けることが可能です
右手・左手どちらでもご使用できます



人さし指・親指などの
使いやすい指でレバーを操作し、
プレスアタッチメントがスムーズに
開閉できるか確認してください



人さし指を
使用する場合

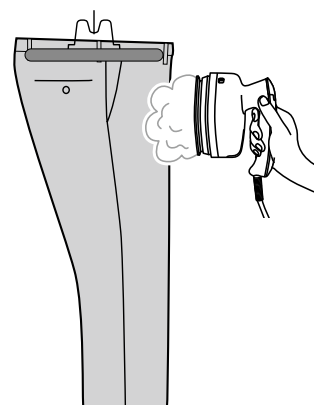


親指を
使用する場合

プレスアタッチメントを使う

1 プレスアタッチメントを取り付けずに 準備・注水・通電・温度設定をします

8ページの **1・2・3・4** の手順で設定し、
本体をスタンドに置き通電してください。



2 プレスアタッチメント使用場所以外のシワを スチームで伸ばします

8ページの **5** の手順でスチームを使ってください。

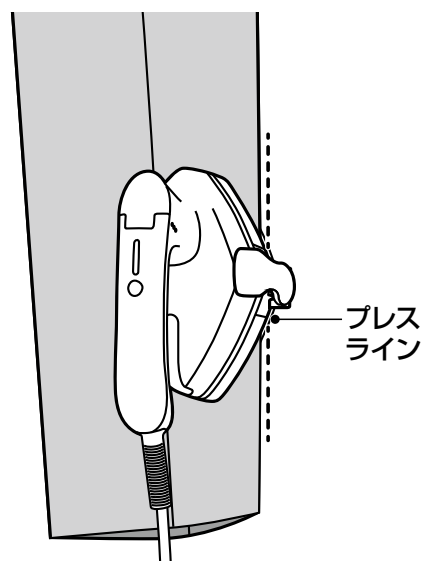
3 仕上げにプレスアタッチメントを使います 温度切替ボタンを「切」に設定し、 スチームが出ないことを確認します

事前に確認した操作方法の通り、
左右どちらかにアタッチメントを取り付けます

温度切替ボタンを押し、「高」☹️または「中」☹️または「低」☹️設定に
してください。温度表示ランプが点滅します。

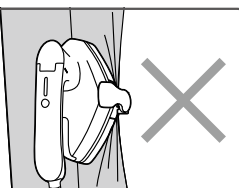
温度表示ランプが点滅から点灯になったことを確認して、プレス
ラインを超えないように衣類を挟み、スチームボタンを押し、本体
を動かします。

スラックスやシャツなど
プレスしたい衣類の
最後の仕上げにおすすめ



ご注意

- 目印のプレスラインを超えて衣類を挟むと、プレスアタッチメントがスムーズに動かなかったり、衣類を挟み込んでシワになることがあります。



⚠️ 警告

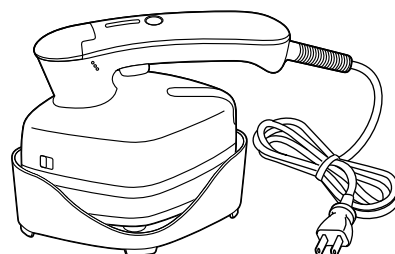


禁止

- 衣類を挟むときは、スチームを出さない
プレスアタッチメントで衣類を挟んだ後にスチームボタンを押し、スチームを出して
ください。やけどの原因になります。

4 使用後、温度切替ボタンを押して「切」にし、 電源を切ります

9ページの **6** の手順を行います。



ドライアイロンとしての使いかた

1

通電します

本体をスタンドに置き、電源プラグをコンセントへ差し込みます。

2

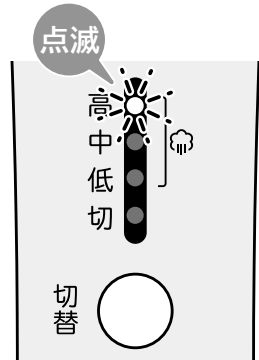
温度を設定します

温度切替ボタンを押し、布地に合った温度に設定してください。
温度表示ランプが点滅します。

ご注意

- 衣類の素材を確認してください。
- 温度表示ランプが点滅中は使用しないでください。

絵表示の見かたと温度の関係→(P.2)



[高温設定時]

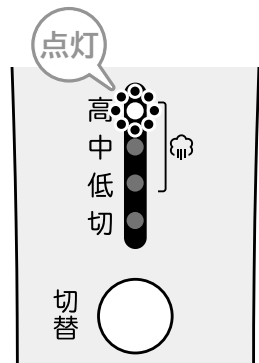
3

ドライアイロンを使います

温度表示ランプが点滅から点灯になったことを確認し、使用してください。

温度設定後は約10分でオートオフがはたらき設定が「切」になります。
10分以上使用する場合は、再度温度切替ボタンを押して設定を
しなおしてください。

(使用途中に温度を切り替えた場合は、最後に温度切替ボタンを
押した時から約10分後にオートオフがはたらきます)

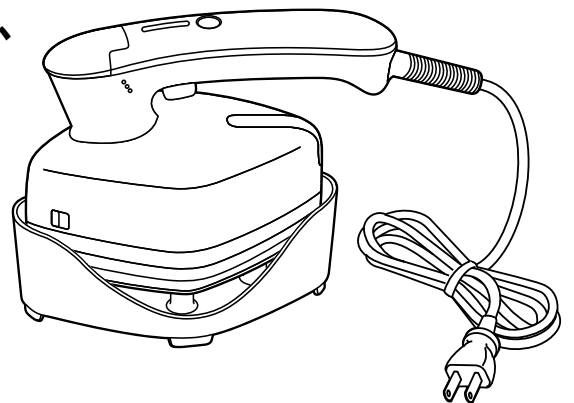


[高温設定時]

4

使用后、温度切替ボタンを押して「切」にし、 電源を切ります

電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源コードを付属のバンドでまとめ、安定した場所で
保管してください。



スチームアイロンとしての使いかた




1

1 通電します

8ページの1・2・3の手順で注水し、本体をスタンドに置き通電してください。

2

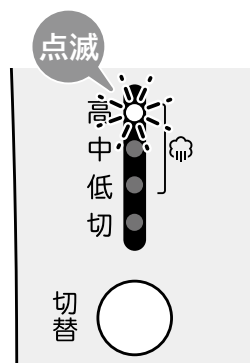
2 温度を設定します

温度切替ボタンを押し、「高」または「中」または「低」設定にしてください。温度表示ランプが点滅します。

ご注意

- 衣類の素材を確認してください。
- 温度表示ランプが点滅中は使用しないでください。

絵表示の見かたと温度の関係→(P.2)



[高温設定時]

3

3 スチームアイロンを使います

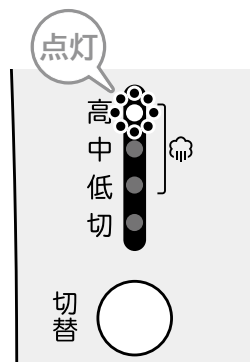
温度表示ランプが点滅から点灯になったことを確認して、スチームボタンを押して使います。

1度スチームボタンを押すと約1分間スチームが出続けます。→(P.7)

途中でスチームを止めたいときは再度スチームボタンを押すか、温度切替ボタンを押してください。スチームが止まります。

水タンクの水が少なくなり、スチームが出にくになったら、電源を切り、電源プラグを抜いてから水を入れてください。

- 必ずスチームを止めてからスタンドに置いてください。
- スチームが出ている時は、ポンプが動作するため音がします。



[高温設定時]

警告



禁止

- スチームを手やひざにあてない。着用した衣類に使用しない
- 高温部(かけ面・スタンド・プレスアタッチメント)に手を触れない
- アイロン台使用時は、アイロン台の下に足を入れない
- やけどのおそれあり

下向きにしてスチームを出し続けると、衣類に水がたれることがあります。スチームは出し続けず適度にご使用ください。

4

4 使用後、温度切替ボタンを押して「切」にし、電源を切ります

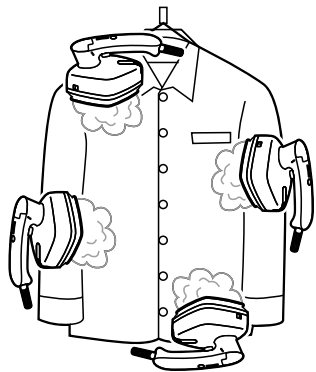
9ページの6の手順を行います。

上手な使いかた

スチーマーとして使うとき

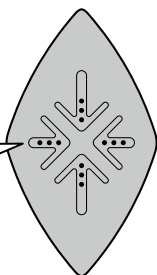
■本体の動かしかた

上向き、下向き、左右どの向きでもスチームが出て衣類スチーマーとして使用できます。



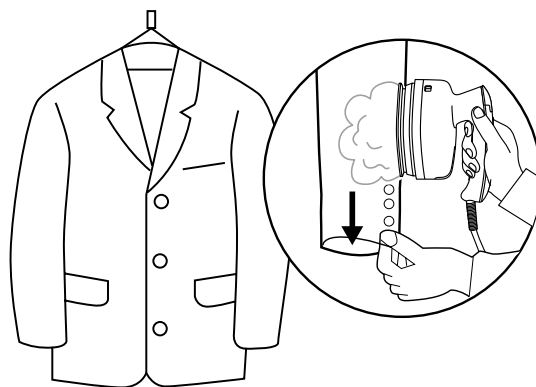
「クロスラインスチーム」により、効率よくスチームが当たります。

十字レイアウトの蒸気口で幅広くスチームを噴射します。



■シワを伸ばすには

衣類の端を引っ張りながら、本体かけ面をなでるようにあててください。スチームはかけ面の中央から広がります。ゆっくり大きく動かしてください。



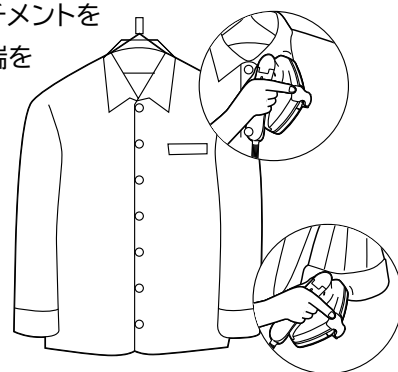
■ズボンのセンターラインをつけるには

ズボンの端を引っ張りながらもともとついていた折り目をしっかりプレスできるように、プレスアタッチメントで挟みラインをつけます。



■衣類の先端をプレスしたいとき

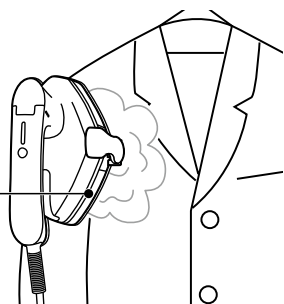
最後にプレスアタッチメントを使用すると、衣類の端をプレスできます。



■テカリが気になる衣類には

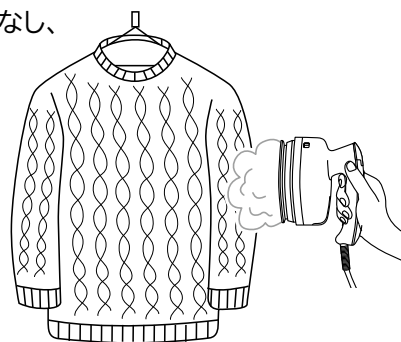
プレスアタッチメントを取りつけ、かけ面が直接衣類に触れないようにしてください。衣類についた糸くず、綿ぼこり、髪の毛なども取りはらうことができます。

プレスアタッチメント



■かけ面をあてられない衣類・ふっくらさせたい衣類には

かけ面を衣類からはなし、スチームをたっぷりあててから形を整えてください。



アイロンとして使うとき

■アイロンかけは、低い繊維温度の布地から順序よくかけます

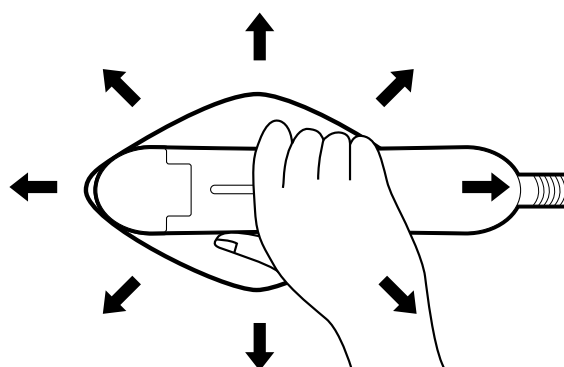
低温のものから高温のものへ順番に布地に合った温度でかけます。

高い温度から低い方の温度設定に切り替えると、かけ面の温度が下がるまで時間がかかります。

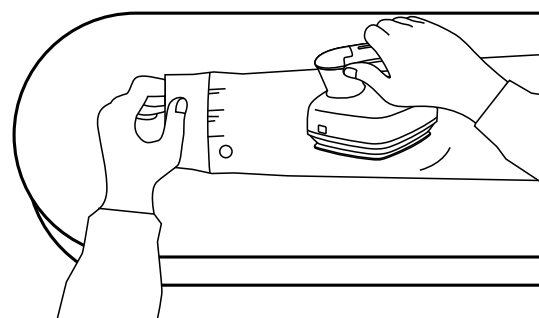


■本体の動かしがた

かけ面は全方向へ動きやすい「ダイヤフォルムベース」です。
手首の負担を軽減し、軽い力でアイロンかけができます。



■伸びにくいシワを伸ばすには、 スチームアイロンとしてシワを伸ばします



スプレーのりを使うとき

■ワイシャツの襟、カフスなどの仕上げに使います

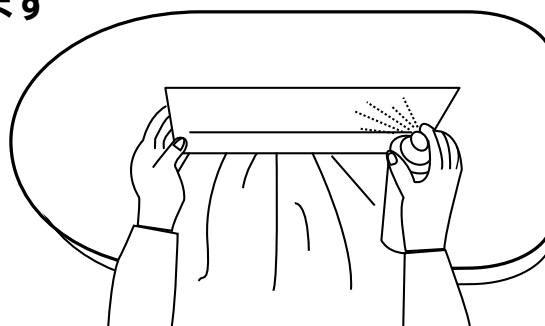
洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、
必ずドライでアイロンかけをします。

少し固めに仕上げたいときは…

スプレーのり

アイロンかけ
(ドライ)

をくり返します。



※一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因となります。

ご使用後はかけ面が十分に冷めてから濡れた布でかけ面についたのりをふきとってください。

お手入れのしかた

お手入れ前に必ず電源プラグをコンセントから抜きます。本体を冷まして(約60分以上)からおこないます。

本体やかけ面が汚れたとき

水・または中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、乾いたやわらかい布でふきます

ご注意 ●みがき粉・シンナーなどは使わないでください。

スチーム穴がつまったとき

つまようじで掃除したあと、高温に加熱してから、ご不用の布の上でスチームを数回噴出します
スチーム穴に付着した水滴は、乾いた布でふきとってください

しばらく使わないとき

タンク内を1度上水道水でゆすぎ、水を全て捨てた後、注排水口ふたを開けて乾燥させます

プレスアタッチメントが汚れたとき

水で汚れを洗い落とします。洗った後は、自然乾燥をしてよく乾かしてください

お困りのとき

下記の事をお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはご相談窓口 (☎P18) にお問い合わせください。

症状	確認するところ、直しかた	ページ
かけ面が熱くならない ランプが点灯しない	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込み、「高」「中」「低」選択後、ランプが点滅から点灯に変わったことをご確認ください。	P.2 P.8 P.12
スチームが少ない スチームが出ない	●温度表示ランプが「高」「中」「低」設定で点灯しているかご確認ください。 ●水タンクの水が十分かご確認ください。 ●かけ面の温度が低い時や使い始めはスチームの出が少なくなることがありますが、しばらくすると戻りますのでお待ちください。 ●スチーム噴出口にゴミや水あかが詰まっていないかご確認ください。	P.7 P.8 P.9
水漏れ・湯滴が出る	●温度表示ランプが「高」「中」「低」設定で点灯しているかご確認ください。 ●注排水口ふたがしっかり閉まっているかご確認ください。 ●本体を激しく動かすと湯滴が出る場合がありますのでご注意ください。	P.7 P.8 P.9
布地が焦げる	●アイロンとして使用する時は、温度設定を布地に合わせた適温にするか、「当て布」をしてください。 洗濯した衣類に洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。 ●「絵表示の見かたと温度の関係」をご確認ください。 ※衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンかけをしてください。 洗濯のりのつけすぎにもご注意ください。	P.2 P.5 P.12 P.13

症状	確認するところ、直しかた	ページ
スチーム噴出時に 白い粉が出る	●水に含まれる鉱物質などが出るもので異常ではありません。 ●白い粉が衣類についた場合は、払うと取れます。	—
温度表示ランプ(高・中・低・切)が 3つ、4つ同時に点滅する	●本体の故障です。 お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P18)にお問い合わせください。	—
温度表示ランプの 「切」が点滅する	●ご使用を控えてください。 お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P18)にお問い合わせください。	—

仕様・性能

この製品は、日本国内家庭用です。電源電圧や、電源周波数の異なる海外では、使用できません。またアフターサービスもできません。

型式	CSI-RX71
定格電圧	AC(交流)100V(50-60Hz共用)
消費電力	950W
水タンク容量	約130mL
温度調節	低(約110℃)、中(約140℃)、高(約170℃)
温度過昇防止装置	温度過昇防止器
寸法	幅約186mm 奥行約127mm 高さ約156mm(スタンド設置時) 幅約180mm 奥行約85mm 高さ約130mm(本体のみ)
質量	約690g(本体のみ)
コード有効長	約2.3m
付属品	プレスアタッチメント、スタンド、注水カップ

日立家電メンバーズクラブのご案内

日立家電メンバーズクラブのMy家電に製品をご登録(無料)いただくと、スマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■My家電への製品登録

①コードを読み取る



②画面の案内に従って 家電品を登録※1



※1 家電品の登録には製品型式や製造番号が必要です。
保証書または製品本体をご確認ください。

・コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

■日立家電メンバーズクラブ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ(日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売)で商品価格総額2,000円(税込)以上お買い上げいただくと送料が無料になります。

※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記内容は予告なく変更する場合がございます。


■ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

詳しくは、日立家電メンバーズクラブのホームページをご覧ください。


ご相談窓口

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください。
または「日立家電品についてのご相談窓口」(下記)にご相談ください。

ご相談の前に本取扱説明書の「お困りのとき」をご確認ください。また日立家電品サポートページで、「よくあるご質問」や「使いかた動画」など各種情報をご覧いただけます。

「日立家電品サポートページ」はこちら 

※下方の内容は予告なく変更させていただく場合がございます。
最新情報は、日立家電品サポートページをご確認ください。

日立家電 サポート 



製品情報や使いかたに関するご相談

機能・操作・設定などのご相談ができます。

TEL 0120-8802-28

携帯電話 050-3152-2828 (有料)


FAX 050-3135-2134 (有料)

■受付時間 9:00~17:30(月~金)
(土日・祝日、年末年始は休業)

修理に関するご相談

修理のご依頼やご相談ができます。

24時間、修理のご依頼ができる

「Web修理受付」はこちら 

日立家電 修理web 

TEL 0120-3121-68

携帯電話 0570-0031-68 (有料)


FAX 0570-2006-57 (有料)

■受付時間 9:00~18:00(月~土)
9:00~17:00(日・祝日)



部品の ご購入に ついて

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または「パーツショップ」へご依頼ください。

日立家電 部品 

<https://store.kadenfan.hitachi.co.jp/store/pages/parts.aspx>



●通話内容の確認と対応品質向上のため、録音させていただきます。

●予期せぬ障害などでお電話が切れてしまった際、折り返し電話を差し上げられるよう、発信者番号の通知をお願いします。
「非通知」設定されているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

●営業時間外やお電話が繋がりにくい場合は、時間を変えてお掛け直しをお願いします。

●修理ご依頼の前に、当社の修理対応方針につきまして、「修理ご利用規約」をご覧ください。

日立修理ご利用規約 



【ご相談窓口におけるお客様の個人情報お取り扱いについて】

●個人情報は当社の個人情報保護方針に則り適切に管理いたします。

●当社の個人情報保護方針につきましては、<https://corp.hitachi-gls.co.jp/utility/privacy>をご覧ください。

※URLは変更する場合があります。日立の家電品ホームページにてご確認ください。

●製品のサービスの提供、各種お問い合わせへの対応に利用させていただきます。また、アンケートをもとにした製品やサービスを向上させるための分析に利用させていただく場合があります。

愛情点検



長年ご使用の衣類スチーマーの点検を!

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか?

- 電源プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。
- かけ面やハンドルが異常に熱い。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

廃棄について 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

保証書（裏表紙）

●この商品は保証書付きです。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げから一年間です。

修理を依頼されるときは（持込修理）

「お困りのとき」→(P.16~17)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

[持込修理対象商品]

なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

この衣類スチーマーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●商品のデザイン、定格、仕様、補修用性能部品等は改良等のため、予告なく一部変更することがあります。

ご転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」→(P.18)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
-----	--

部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
-----	--

日立衣類スチーマー 保証書

持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

型式	CSI-RX71	※お買い上げ日	保証期間
		年 月 日	本体： 1年
※お客さま	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電 話 (_____)		
※販売店	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電 話 (_____)		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、輸送などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 業務用に使用されて生じた故障および損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客さまのご負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはご相談窓口→(P.18)にご相談ください。
 - 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口→(P.18)にお問い合わせください。
- お客さまにご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、「保証とアフターサービス」→(P.19)をご覧ください。

修理メモ

日立グローバルライフソリューションズ株式会社 〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

お問い合わせ先：「修理に関するご相談窓口」0120-3121-68、携帯 0570-0031-68
詳しくは「保証とアフターサービス」のページをご覧ください。